

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目：現代の国語 単位数： 2 単位対象学年組：第1年次1組～6組
 教科担当者：（1組：砂田）（2組：砂田）（3組：砂田）（4組：武藤）（5組：武藤）（6組：武藤）
 使用教科書：（第一学習社 高等学校 現代の国語 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 社会生活に必要な我が国の言葉について、その資質を理解し、適切に用いることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活に必要な他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。また生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、読み手に伝わりやすくなるよう表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えることで要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠を明確に示す。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報の持つ関係性を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色を理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。				7
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて、本文中以外の題材を積極的に探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・指導事項 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じるという叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が読み手に的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・洋の東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。				8
	定期考査			○	○		1

	<p>ものことば（鈴木孝夫）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。 言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 <p>・教材…ものことば ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。 			6
	<p>話し方の工夫</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 <p>・教材…話し方の工夫 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 比喩、例示、言い換えなどの修辞的な叙述方法と、直接的な述べ方について理解し使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を踏まえて話すなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	○		4
	定期考査			○	○	1
2学期	<p>書き方の基礎レッスン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割を踏まえ、正確で分かりやすい表現について理解を深め、実際に書く。 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み手に伝わるよう、論理の展開、情報の分量を考えて、文章の構成や展開を工夫する。 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方、表現の仕方を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。 接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぶ。 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法を理解する。 比喩などの表現技法を理解する。 <p>・教材…書き方の基礎レッスン ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割を踏まえ、正確で分かりやすい表現について理解を深め、実際に書くことができる。 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し、正しく使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み手に伝わるよう、論理の展開、情報の分量を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方、表現の仕方を工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 		○	8

定期考査			○	○		1
<p>現代の「世論操作」(林香里)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報をどのように一般化しているかを捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 	○	○	○	7
<p>スピーチで自分を伝える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討する。 自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるよう表現を工夫する。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を相互評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行う。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を吟味している。 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を相互評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 	○			5
定期考査						
<p>フェアな競争(内田樹)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 		○	○	8
						1

<p>ついて、その構造や特色などを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。 	<p>旨を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、具体と抽象など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人1台端末の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。 				
<p>実用的な手紙文の書き方</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深めた上で実際に使用する。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について学習し、それらを理解したうえで活用する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを推敲し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書く。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で活用できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を工夫するとともに、表現方法にも工夫を加えている。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
				合計		70

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2

単位対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：神谷）（2組：神谷）（3組：神谷）（4組：砂田）（5組：砂田）（6組：砂田）

使用教科書：（第一学習社 高等学校 言語文化 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 社会生活に必要な我が国の言葉について、その資質を理解し、適切に用いることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活に必要な他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。また生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。	論理的に考える力と深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする中で、他者と伝え合う力を養うことができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しむことで自己を向上させる。また我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間	
1 学 期	古文の学習 【知識及び技能】 ・言葉に文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について文法的な側面から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・言葉の持つ文化の継承、発展、創造を支える働きについて理解している。 ・我が国の言語文化の特性について理解している。		○	○		2
	兎のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化の語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ親しむとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を正確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を正確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、学習し、文語のきまりを理解する。 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ親しむとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を正確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○		4
	定期考査			○	○			1
	なよ竹のかぐや姫 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れ親しむとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を正確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内	○	○	○		6	

	<p>れていることを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。 		<p>容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 				
	<p>伊勢物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方、鑑賞方法を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「芥川」では絵画資料と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>徒然草</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」を活用し、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。 	○	○	○	7
	<p>夢十夜 第1夜（夏目漱石）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項…「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている。 	○	○	○	3
	定期考査						1

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用）教科 社会 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位対象学年組： 第1年次1組～6組
 年組： 第 1学年 1組～ 6組
 教科担当者： （1組：上杉） （2組：上杉） （3組：上杉） （4組：渡邊勝） （5組：渡邊勝） （6組：渡邊勝）
 使用教科書： （東京書籍『公共』）
 教科 公共 の目標：

【知識及び技能】現代の諸課題を考察するための概念や理論について理解し、倫理的主体として活動するために必要となる情報リテラシーを向上させる。

【思考力、判断力、表現力等】公共的な空間における基本的原理を活用して、現実社会の諸課題の解決を志向する態度を養い、事実を基に多面的・多角的に考える力や、合意形成や社会参画に必要な対話力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図るために何が必要かを自分の問題として問う志向性を身につける。各国が相互に主権を尊重し、国際協調・国際貢献など互恵的な関係を築くことについて継続的に理解を深められる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 ○諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。	○現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用できる。 ○事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	第1部第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 【知識及び技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	・指導事項 (1)現代社会に生きる青年 1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 (2)社会的な関係のなかで生きる人間 1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかの人間 ・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている	【知識及び技能】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題であるアイデンティティの確立の意味について理解している。 ・現代社会を生きる課題とキャリア開発の意義、人間関係の形成と社会への参画の意義について理解している。 ・規則と自由の課題について、カントの道徳法則に基づく自由とJ.S.ミルの自由の考え方を比較しながら理解している ・社会的な存在としての人間のあり方について、アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの観点から理解している。 ・ものの捉え方や考え方が伝統・文化と関連していることを、先人の考え方や「公」と「私」についての考えから理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、現代社会を生きる課題とキャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人間存在を、個人としての尊厳、社会的存在、伝統と文化と人間の三つの側面から、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、現代社会を生きる課題とキャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて、主体的に追究している。 ・人間が「個人」として尊重されることの意味について、自由や人格、幸福などに関する先人の思想を手がかりに主体的に追究している。 ・伝統・文化とのかかわりで生きる人間のあり方について、先人の思想を手がかりに主体的に追究している。	○	○	○	13
	定期考査						1
	第1部第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	・指導事項 第2章	【知識及び技能】 ・行為の理由と正当化にかかわる目的論と義	○	○	○	13

	<p>【知識及び技能】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。</p> <p>第1部第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会</p> <p>【知識及び技能】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。</p>	<p>1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている</p> <p>・指導事項 第3章 1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている</p>	<p>務論について理解するとともに、目的論にかかわって功利主義と徳倫理学について理解している。</p> <p>・義務論の代表的な考え方としてカントの道徳法則や自律について理解するとともに、ロールズの公正としての正義やセンの潜在能力の平等の意義について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・正しさや善さを裏付ける考え方について、先人の思想を手がかりに主体的に追究している。</p> <p>【知識及び技能】 ・社会における利害の調整のしくみとして市場によるものと、国家によるものがあること、また、それぞれの特徴を理解している。</p> <p>・政治における意思決定の方法としての民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制について理解している。</p> <p>・法の支配の意味、近代立憲主義と権力分立、憲法と民主主義の関係について理解している。</p> <p>・近代以降の社会構成の原理である基本的人権の尊重、人間の尊厳と平等の意義、人権の歴史的発展と人権保障の広がりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。</p>				1
定期考査							1
2 学 期	<p>第2部第1章 民主政治と私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。</p> <p>第2部第2章 法の働きと私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・指導事項 第2部第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>・指導事項 第2部第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割 1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用 テーマ2 市民生活と私法 1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 テーマ3 国民の司法参加</p>	<p>【知識及び技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。</p> <p>・民意を反映した政治を実現するための現状と課題について、世論調査、投票率、選挙結果の観点から理解している。</p> <p>・国民投票のメリットとデメリットに関して、〈多数決〉と〈熟議〉の二つの視点について理解している。</p> <p>・さまざまなレベルの集団における政治の意義や働き、民主主義にかかわる具体的な姿について理解している。</p> <p>・現代の民主主義の課題について、歴史的な視点も含めてその概略を理解している。</p> <p>・地方自治の本旨とそのしくみ、地方財政のしくみと課題、地方自治における住民参加の意義などについて理解している。</p> <p>・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解している。</p> <p>・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について理解している。</p> <p>・政治参加のさまざまな方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題について理解している。</p> <p>・民主政治における政党の役割、日本の政党政治、政治影響を及ぼそうとする利益集団、政治資金にかかわる課題などについて理解している。</p> <p>・民主主義における世論の意義、メディアの</p>	○	○	○	13

<p>【学びに向かう力、人間性等】・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約。消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，主体的に追究している。</p>	<p>1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。</p>	<p>世論への影響，インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解している。</p> <p>・道徳を含む社会規範における法の特徴，法の役割，法の区分とそれぞれの特徴について理解している。</p> <p>・法案の作成と提出，民事裁判と刑事裁判，裁判における法の適用，法の解釈の意味などについて理解している。</p> <p>・市民生活における私法の役割について，民法の概要，私法の3原則，過失責任の原則，契約自由の原則や契約の種類，契約自由の原則の修正，消費者契約の特性と消費者法制，消費者市民社会の形成などの点から理解している。</p> <p>・私法の性格，私法の三つの原則，過失責任の原則などについて理解している。</p> <p>・契約自由の原則，契約の種類，契約自由の原則の修正などについて理解している。</p> <p>・消費者契約の特色，消費者法制と消費者の権利，消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解している。</p> <p>・司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権，刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会などについて理解している。</p> <p>・司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権について理解している。</p> <p>・刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会制度について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約。消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約。消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，主体的に追究している。</p>				
<p>定期考査</p>						1
<p>第2部第3章 経済社会で生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方と課題について，主体的に追究している。</p> <p>第2部第4章 私たちの職業生活</p> <p>【知識及び技能】 ・働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア</p>	<p>・指導事項 第2部第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 テーマ2 市場経済における金融の働き 1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化 テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度 1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれから</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。</p> <p>・指導事項 第2部第4章 私たちの職業生活 テーマ1 働くことの意義と職業選択</p>	<p>【知識及び技能】 ・経済活動の意義，経済主体と経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，景気変動と物価などについて理解している。</p> <p>・経済活動の意義，経済主体と経済循環，グローバル化のなかの経済活動の動きについて，理解している。</p> <p>・市場経済における価格の働き，市場の失敗と政府の役割について，理解している。</p> <p>・経済の指標の計算方法と意味，経済成長とその要因，景気変動と物価について理解している。</p> <p>・貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について理解している。</p> <p>・貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動きについて理解している。</p> <p>・中央銀行の役割，中央銀行の行う金融政策，金融の自由化と金融商品の多様化の動向について理解している。</p> <p>・財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度，少子高齢社会における社会保障の課題などについて理解している。</p>	○	○	○	13

	<p>形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。</p>	<p>1 働くということ 2 多様な職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題</p> <p>・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の三つの機能、財政政策、財政のしくみや租税法律主義などについて理解している。 ・租税の分類、課税の原則、国債の役割、財政問題と財政危機について理解している。 ・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解している。 ・少子高齢化の進む日本の現状、社会保障の財源確保、社会保障と経済の活性化とのかわりなどについて理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成などについて理解している。 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択などについて理解している。 ・職業選択のポイント、多様化するキャリア選択、キャリア形成の課題について理解している。 ・資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働条件改善に向けた課題、雇用環境の変化、現代のさまざまな労働問題などについて理解している。 ・資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働条件の改善に向けた課題について理解している。 ・雇用環境の変化、現代のさまざまな労働問題、労働環境について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。 				
3 学期	<p>定期考査</p> <p>第2部第5章 国際社会のなかで生きる私たち 【知識及び技能】 ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。</p>	<p>・指導事項 第2部第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ 1 国際社会の成り立ち 2 国際連合の役割 テーマ2 国際社会と平和主義 1 日本の平和主義と冷戦 2 冷戦後の世界と日本 テーマ3 国際平和への課題</p>	<p>【知識及び技能】 ・経済活動の意義、経済主体と経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて理解している。 ・経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きについて、理解している。 ・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、理解している。</p>	○	○	○	1

<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，主体的に追究している。 <p>第3部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探究のイメージをつかもう 2 探究プロセス <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な事項を理解している。また，第1部・第2部で学習した知識と関連付けている。 ・必要な資料を収集・整理し，必要な事項を抽出しまとめている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し，分析したり考察したり判断したりしている。 ・得られた結果や自らの主張を，論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究のための学習計画をふまえて，探究活動の進行を自らふり返り調整しながら，解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代の紛争とその影響 2 平和な国際社会に向けて <p>テーマ4 グローバル化する国際経済</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 貿易のしくみ 2 国際金融のしくみと動向 3 グローバル化と今日の国際経済 4 国際経済の諸課題 <ul style="list-style-type: none"> ・教材 等 ・教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 <p>・指導事項</p> <p>第3部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探究のイメージをつかもう 2 探究プロセス <ul style="list-style-type: none"> ・教材 等 ・これまでの学習内容をふまえ，現代における諸課題について，必要な資料を収集・整理し，自らの意見を述べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の指標の計算法と意味，経済成長とその要因，景気変動と物価について理解している。 ・貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について理解している。 ・貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動きについて理解している。 ・中央銀行の役割，中央銀行の行う金融政策，金融の自由化と金融商品の多様化の動向について理解している。 ・財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度，少子高齢社会における社会保障の課題などについて理解している。 ・財政の三つの機能，財政政策，財政のしくみや租税法律主義などについて理解している。 ・租税の分類，課税の原則，国債の役割，財政問題と財政危機について理解している。 ・社会保障の意義と歴史，日本の社会保障制度について理解している。 ・少子高齢化の進む日本の現状，社会保障の財源確保，社会保障と経済の活性化とのかかわりなどについて理解している。 ・働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択とこれからのキャリア形成などについて理解している。 ・働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択などについて理解している。 ・職業選択のポイント，多様化するキャリア選択，キャリア形成の課題について理解している。 ・資本主義社会における労働契約の特性，労働者の権利と労働三法の内容，労働条件改善に向けた課題，雇用環境の変化，現代のさまざまな労働問題などについて理解している。 ・資本主義社会における労働契約の特性，労働者の権利と労働三法の内容，労働条件の改善に向けた課題について理解している。 ・雇用環境の変化，現代のさまざまな労働問題，労働環境について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方や課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題，資本主義社会における労働契約，労働者の権利と労働三法，雇用環境の変化と現代の労働問題などについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義，経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，金融のしくみと働き，中央銀行の役割と金融環境の変化，財政の働きと課題，社会保障の考え方や課題について，主体的に追究している。 ・働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割，職業選択のポイント，多様化するキャリアの選択とキャリア形 	
---	---	--	--

			成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。				
	定期考査						1
						合計	70

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学 I

教科：数学科 科目：数学 I 単位数：3単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1・2組：吉野・上條・數澤）（3・4組：吉野・上條・荒木）（5・6組：吉野・上條・荒木）

使用教科書：(NEXT 数学 I 数研出版)

教科の目標：数学的活動を通して、基礎的な知識の習得や事象を数学的に考察する能力を育成する。

【知識及び技能】既習の知識及び技能と関連付けながら新しい概念を導き、数学を活用して問題を解決する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学化し、目的に応じて数式、図、表、グラフなどを活用して表現する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、積極的に数学を活用して問題を自立的、協働的に解する態度を育成する。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみることで目的に応じて適切に変形する力を身に付ける。 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。 関数関係に着目することで、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	単元名：式の計算 実数 【知識及び技能】 式を扱うための基本的な用語や計算方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなど、目的に応じた式の見方を身に付ける。 既に学習した計算方法と関連付けるなど、式を多面的に捉える力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。	・指導事項 4月「多項式の加法と減法」 「多項式の乗法」 「因数分解」 5月「実数」 「根号を含む式の計算」 ・教材等 教科書「NEXT 数学 I」 副教材「CONNEXT 数学 I +A」 プリント	【知識及び技能】 ・多項式の加法、減法の計算ができる。 ・分配法則を用いて多項式の積の計算ができる。 ・公式を利用して式の展開ができる。 ・公式を用いて2次式の因数分解ができる。 ・分数を循環小数で、循環小数を分数で表すことができる。 ・絶対値の意味を理解し、実数の絶対値を求めることができる。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法、除法の計算ができる。また、展開の公式を利用して根号を含む式の乗法の計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を1つの文字におき換えること、積の組み合わせを工夫したりすることで、式の展開を簡略化することができる。 ・式によって適切な方法を判断して因数分解ができる ・複雑な式についても、式を1つのまとまりとみる、1つの文字について整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 ・式の特徴に注目して対称式の値を求めることができる。また、それに分母の有理化などを利用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・どの式を1つの文字でおき換えるのか、式変形の工夫の仕方について考えることで、よりよい展開、因数分解の方法について考察しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元名：1次不等式 集合と命題 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、説明する力を身に付ける。 絶対値を含む方程式や不等式を解く力を身に付ける。 命題に関する基本的な概念や用語を理解し、それを用いて命題を証明する力を身に付ける。	・指導事項 6月「不等式の性質」 「1次不等式」 「絶対値を含む方程式・不等式」 7月「命題と条件」 「命題と証明」 ・教材等 教科書「NEXT 数学 I」 副教材「CONNEXT 数学 I +A」 プリント	【知識及び技能】 ・不等式の解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 ・絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 ・命題の真偽を考察することができる。 ・必要条件、十分条件、同値などの定義を理解し、その判定ができる。	○	○	○	20

	断しようとする態度を身に付ける。		<p>や辺の長さが求められることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・正弦定理、余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを決定することができる。 ・2辺とその間の角が与えられた三角形の面積を求めることができる。 ・3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象における長さや角度について、三角比を用いて捉え、三角比の値からそれらを求めることができる。 ・正弦定理、余弦定理のうち適切なものを判断し、種々の量を求めることができる。 ・円に内接する四角形の面積を、2つの三角形に分けて求めることができる。 ・空間図形から平面図形を取り出し、辺の長さや面積などを求めることができる。 ・三角比を活用して、空間図形の体積を求めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の事象を、三角比を用いて解決しようとしている。 ・同じ問題でも、正弦定理、余弦定理を使った場合に、解の吟味の必要性などが異なることに興味をもち、それぞれの定理や三角比の特徴の違いを考察しようとしている。 				
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元名：データの分析</p> <p>【知識及び技能】 統計の基本的な考えや種々の統計量、特にデータの散らばりや相関を表す量について理解し、説明する力を身に付ける。 仮説検定の考え方を理解し、説明する力を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統計の基本的な考えや種々の統計量を用いてデータを分析し、様々な判断をできる力を身に付ける。 仮説検定の考え方をもとにした判断をする力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1月「データの整理」 「データの代表値」</p> <p>2月「データの散らばりと四分位数」 「分散と標準偏差」 「2つの変量の間関係」</p> <p>3月「データの分析を活用した問題解決」 「仮説検定の考え方」</p> <p>・教材等 教科書「NEXT 数学I」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを度数分布表に整理し、ヒストグラムに表すことができる。 ・データの平均値、中央値、最頻値を求めることができる。 ・分散と平均値の関係式を用いて、分散を求めることができる。 ・相関係数を求めることができる。 ・仮説検定の考え方を理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばりの度合いを、範囲、四分位範囲を用いて判断できる。 ・複数のデータの分布を、箱ひげ図を用いて比較できる。 ・データの散らばりの度合いを、分散や標準偏差を用いて判断できる。 ・散布図をかくて、相関の有無や正負を判断できる。 ・データを分析することで問題を解決し、その結論および過程について表現することができる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、適切な判断ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを整理、表現するのに適切な方法や階級の幅などを考えようとしている。 ・適切な指標を用いてデータの散らばりの度合いを判断しようとしている。 ・様々なデータについてその相関を自ら調べてみようとしている。 	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
合 計							105

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学A

教科：数学科 科目：数学A 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1・2組：荒木、吉島、數澤）（3・4組：上條、荒木、吉島）（5・6組：上條、數澤、吉島）

使用教科書：（NEXT 数学A 数研出版）

教科の目標：数学的活動を通して、基礎的な知識の習得や事象を数学的に考察する能力を育成する。

【知識及び技能】既習の知識及び技能と関連付けながら新しい概念を導き、数学を活用して問題を解決する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学化し、目的に応じて数式、図、表、グラフなどを活用して表現する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、積極的に数学を活用して問題を自立的、協働的に解する態度を育成する。

科目 数学Aの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間に関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付ける。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付ける。 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	単元名：場合の数 【知識及び技能】 場合の数を求めるための基本的な考え方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な場合の数を求めるための公式について、それを適用するだけにとどまらず、公式が導出される過程についても考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。	・指導事項 4月「集合の要素の個数」 「場合の数」 5月「順列」 「組み合わせ」 ・教材等 教科書「NEXT 数学A」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント	【知識及び技能】 ・集合の要素の個数を求めることができる。 ・場合の数を求めることができる。 ・順列、組合せの総数を記号で表し、その式を活用して総数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な場合の数について、既習の内容に帰着するなどして、適切に状況を判断して総数を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・総数を求める式から場合の数の問題を作り出す活動を通じて、順列や組合せについて主体的に考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	単元名：確率 【知識及び技能】 場合の数の求め方を活用するなどして、様々な事象の確率を求める力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。	・指導事項 6月「事象と確率」 「確率の基本的性質」 7月「独立な試行と確率」 「条件付き確率」 「期待値」 ・教材等 教科書「NEXT 数学A」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント	【知識及び技能】 ・確率を直接求めるか、余事象を用いて求めるか適切に判断して確率を求めることができる。 ・順列や組合せの総数を利用して、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な事象の確率について、状況を正しく判断し、適切な方法で確率を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活で様々な判断をする際、確率を積極的に活用しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元名：平面図形 【知識及び技能】 平面図形の様々な性質について、その証明を含めて理解し説明する力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図形の性質を用いて、様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できるような力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。	・指導事項 9月「三角形の角の二等分線と辺の比」 「三角形の外心・内心・重心」 10月「チェバの定理・メネラウスの定理」 「円に内接する四角形」 ・教材等 教科書「NEXT 数学A」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント	【知識及び技能】 ・三角形の内角、外角の二等分線について、線分の比や長さを求めることができる。 ・三角形の外心、内心、重心について理解し、角の大きさや辺の長さを求めることができる。 ・チェバ・メネラウスの定理について理解し、線分の比を求めることができる。 ・円周角の定理と円周角の定理の逆について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・チェバ・メネラウスの定理について、どちらの定理を用いるか適切に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な形の三角形について、垂直二等分線、角の二等分線、中線を引いてみることで、外心、内心、重心を見出そうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	<p>単元名：平面図形 空間図形</p> <p>【知識及び技能】 様々な空間図形の性質について、平面図形との違いも踏まえながら理解し説明する力を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平面図形、空間図形の性質を用いて、様々な事象の考察し活用できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項 11月 「円と直線」 「2つの円」 12月 「直線と平面」 「多面体」</p> <p>・教材等 教科書「NEXT 数学A」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント</p>	<p>【知識及び技能】 ・円の接線と弦の作る角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。 ・方べきの定理について理解し、線分の長さを求めることができる。 ・空間における2直線の位置関係やなす角について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・空間における2平面の位置関係やなす角について理解し、与えられた条件から垂直、平行などについて正しい判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・既習事項を整理し、それらを組み合わせることで少し複雑な図形について様々な解法を検討しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元名：数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深め説明する力を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な人間の活動の中から、現実の事象について数学を用いて考察できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導事項 1月 「約数と倍数」 「素数と素因数分解」 2月 「最大公約数・最小公倍数」 「整数の割り算」 「ユークリッドの互除法」 3月 「1次不定方程式」 「記数法」</p> <p>・教材等 教科書「NEXT 数学A」 副教材「CONNEXT 数学I+A」 プリント</p>	<p>【知識及び技能】 ・素因数分解を利用して最小公倍数、最大公約数、正の約数の個数を求めることができる。 ・互除法を用いて最大公約数を求めることができる。 ・1次不定方程式の解をすべて求めることができる。 ・n進法の仕組みを理解し、10進数をn進数で、n進数を10進数で表すことができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・1次不定方程式の解の存在について、その理由も含めて考察し、説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活における具体的な事象に約数と倍数の考えが活用されていることを理解し、具体的な事象についてそれを確認したり考察したりしようとしている。 ・1次不定方程式を、様々な問題の解決に積極的に活用しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
合 計							70

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位対象
 学年組：第 1学年 1組～ 6組
 教科担当者：（1組：新井真）（2組：八木）（3組：新井真）（4組：新井真）（5組：新井真）（6組：新井真）
 使用教科書：（実教出版 高校生物基礎）
 教科の目標：

- 【知識及び技能】 用語（テクニカルターム）の正確な理解と、自然現象に対する理解と好奇心を高める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 身近な生活と諸課題について考察し、科学的技能及び見方や考え方を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象に対して積極的に興味を持てる点を探る姿勢を身に着ける。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物に関する用語の正確な理解と生命現象に対する理解と好奇心を高める。	生命に関する身近な生活と諸課題について考察し、生命科学的技能及び生物学的な見方や考え方を身に着ける。	生命に関する事象に対して積極的に興味を持てる点を探る姿勢を身に着ける。他人と協力して課題を解決する方法や姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学期	単元：生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性について全ての生物が共通して持つ細胞の構造と働きについて知る。細胞内で行われる代謝の例として光合成と呼吸について知る。代謝に関わる物質としてATPについて知る。光学顕微鏡で細菌レベルの生物を観察する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物とは何か共通点を考え、それを班でまとめて発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業中の学びだけでなく、課題に積極的に取り組む。	○生物の多様性と共通性 ・多様な生物とその祖先 ・細胞の構造と働き ・代謝とエネルギー ・酵素 ・光合成 ・呼吸 ○教材 等 ・実教出版「高校生物基礎」 ・実教出版「アクセスノート生物基礎」 ・実教出版「サイエンスビュー生物総合資料四訂版」 ・光学顕微鏡 ・酵素実験用生物試料 ・生徒所有の情報端末	【知識及び技能】 細胞の構造について、細胞小器官の名称と働きについて理解している。ATPの構造と働きについて理解している。代謝と酵素反応の関係について理解している。光合成と呼吸とATPの関係について理解している。光学顕微鏡で細菌レベルの生物を観察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の共通点を複数挙げ、それぞれがすべての生物に共通であるか判断・評価できる。その内容を班内で共有し、新たな意見を受け入れることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自由提出課題にも積極的に取り組むことができる。班内の活動に積極的に関わることができる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	単元：遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 ミトコンドリアと葉緑体の起源について知る。DNAと遺伝子の関係について理解する。細胞分裂の流れを理解する。タンパク質合成の流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 DNA研究の歴史について、グリフィスとアベリーの実験内容から遺伝子の本体がDNAであると導き出した流れを追思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 だ腺染色体観察において、班で協力して実験対象を観察できる。	○生物の多様性と共通性 ・ミトコンドリアと葉緑体の起源 ○遺伝子とその働き ・ゲノムと遺伝子 ・DNA研究の歴史 ・DNAの構造 ・細胞分裂とDNA ・遺伝子とタンパク質 ・タンパク質の合成 ・遺伝子の発現 ○教材 等 教科書類共通 ・DNA抽出実験用試料 ・だ腺染色体観察用試料 ・生徒所有の情報端末	【知識及び技能】 共生説についてその根拠に至るまで把握している。DNAの塩基配列がタンパク質のアミノ酸配列を指定していることを理解している。細胞分裂の流れについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子の本体がDNAであることが実験結果から推定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験観察の観察という課題に対して、班で役割を分担し目標が達成できる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	単元：ヒトの体の調節 【知識及び技能】 体液の種類とその働きについて理解する。肝臓と腎臓の構造と働きについて理解する。自律神経とホルモンによる体内環境の調節について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 腎臓の物質の再吸収量について計算で求めることができる。血糖濃度の調節において、血糖量を低下させる仕組みが乏しい理由を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 班で協力して、実験材料から、豚の血液凝固の現象を観察することができる。	○生物の体内環境とその維持 ・体内環境と恒常性 ・体液とその働き ・体液の調節 肝臓と腎臓 ・自律神経系による調節 ・ホルモンによる調節 ・自律神経系とホルモンによる調節 ○教材 等 教科書類共通 ・ブタ腎臓 ・ブタ血液（血液凝固実験用試料） ・生徒所有の情報端末	【知識及び技能】 血液と組織液とリンパ液の違いが分かる。肝臓の働きを複数挙げることができる。ホルモンの種類と働きと内分泌腺を正しく答えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ホルモンと自律神経の働きを踏まえて、血糖量調節の流れが説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 班で協力して、実験材料から、豚の血液凝固の現象を観察する目標を達成できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	<p>単元：ヒトの体の調節</p> <p>【知識及び技能】 生体防御と免疫の仕組みについて理解する。自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫の違いを理解する。植生とその遷移について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 極相林が陰樹の林になる理由を理解できる。校内の植物を特徴から見分ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトと協力して校内の植物種の判定を行う。</p>	<p>○生物の体内環境とその維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生体防御と免疫 ・自然免疫の仕組み ・獲得免疫の仕組み ・ヒトと免疫 <p>○生物の多様性と生態系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物と環境のかかわり ・植生とその構造 ・遷移と極相 <p>○教材 等 教科書類共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の植物 ・生徒所有の情報端末 	<p>【知識及び技能】 免疫に関わる各細胞の働きを理解し、体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。陽生植物と陰生植物の性質を理解し、森林への一次遷移の流れを説明できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 校内の植物を特徴から見分けられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自由提出課題にも積極的に取り組むことができる。班内の活動に積極的に関わることができる。</p>	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
	<p>単元：生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】 世界のバイオームについて知る。生態系のバランスと人間生活との関係について知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 環境の保全の意味について考える。個人でできる環境保全について考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 環境保全の意味について班員と意見交換する。</p>	<p>○生物の多様性と生態系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオームの分布 ・生態系 ・エネルギーの流れと物質循環 ・生態系のバランス ・人間生活と環境の変化 ・人間生活と生態系の変化 ・環境の保全 <p>○教材 等 教科書類共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の植物 ・生徒所有の情報端末 	<p>【知識及び技能】 世界のバイオーム11種類の特徴を理解している。日本のバイオーム4種類の特徴と分布について理解している。生態系のバランスと生物多様性の重要性について理解している。生態系に影響を与える人間生活について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 環境の保全の意味について自分の意見を持つことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自由提出課題にも積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	13
定期考査				○	○		70
							1
							合計

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科：保健体育 科目：体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位 対象学年組：第1学年1組～6組

教科担当者：木村宏幸、加藤景子、戸張豊賢

使用教科書：ステップアップ高校 スポーツ

教科 体育の目標：

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性を理解するとともにそれらの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたり運動を継続するための課題を発見・解決し、自己や他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】協働的な経験を通して、公正に取り組む・協力する・責任を果たすなど安全に配慮しながら運動に親しむ。

科目 体育の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性を理解するとともにそれらの技能を身に付ける。	生涯にわたり運動を継続するための課題を発見・解決し、自己や他者に伝える力を身に付ける。	協働的な経験を通して、公正に取り組む・協力する・責任を果たすなど安全に配慮しながら運動に親しむ態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学期	<p>単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入から攻防を展開している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしている。 一人一人の違いに応じたプレイをしている。 健康・安全を確保して運動している。</p>	<p>○種目を選択する アルティメット バスケットボール ハンドボール</p> <p>○グループで事前に授業計画を行い、授業を実施する。</p> <p>1. 基礎・基本の技能の習得 2. アウトナンバーのゲーム 3. ゲームの運営</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 球技の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (2) 安定したボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出し埋める動きなどをゲームで行うことができる。 (3) 動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高めることができることを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 自分やチームの課題を見つけ、知識や技能を活用して練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (2) よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。 (3) チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (4) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。 (2) 仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとすることができる。 (3) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。</p>	○	○	○	20
	定期考査						
	<p>単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法の効率を高めて泳いでいる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしている。 一人一人の違いに応じた課題に挑戦しようと</p>	<p>○個々の能力に応じた泳法を習得する (ア) クロール (イ) 平泳ぎ (ウ) 背泳ぎ (エ) バタフライ (オ) 複数の泳法で泳ぐ</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 (2) 自分や仲間の動きを観察して課題を見つけ、学習の成果を高めるということを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習し、計画を立てることができる。 (2) 技術的な課題や解決に有効な練習方法について、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。</p>	○	○	○	10

	<p>している。 健康・安全を確保して運動している。</p>		<p>(3)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとすることができる。 (2) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。</p>				
	定期考査						
2学期	<p>単元 球技（ネット型）</p> <p>【知識及び技能】 味方や相手の状況に応じてボールに緩急や高低、回転などの変化をつけて前後左右の置いた場所に打ち分けたり、リズムを変えたりして仲間と連携して攻防を展開している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしている。 一人一人の違いに応じたプレイをしている。 健康・安全を確保して運動している。</p>	<p>○種目を選択する バドミントン 卓球 テニス</p> <p>○グループで事前に授業計画を行い、授業を実施する。</p> <p>1. 基礎・基本の技能の習得 2. 連動した動き 3. ゲームの運営</p>	<p>【知識及び技能】 (1) バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (2) 打ち込まれたシャトルに対応して、安定したラケット操作でコースや球種を使い分けてゲームすることができる。 (3) 動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解できる。 (4) ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (2) よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。 (3) 作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分（ペア）の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (4) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。 (2) 仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとすることができる。 (3) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。</p>	○	○	○	20
	定期考査						
	<p>単元 陸上競技（長距離走）</p> <p>【知識及び技能】 自己の目標に応じた目標設定を行い、課題解決のための実践練習を実施している。 自他の変化に応じてペース配分に応じて走っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上に主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしている。一人一人の違いに応じたプレイをしている。 健康・安全を確保して運動している。</p>	<p>○ここに定めた目標を設定する</p> <p>1. 1000M 2. 2000M 3. 3000M 4. 4000M 5. 5000M</p>	<p>【知識及び技能】 (1) 種目ごとに必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (2) 陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (2) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習や競争の方法を見つけることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとすることができる。 (2) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査						

<p>単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 攻撃では安定したバット操作に加え等級の変化や走者の位置などに対応してボールを打ち返している。守備では相手の特徴に応じた守備位置に立ち、相手の進塁を最小限に防ぐ効率的な中継プレイをしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしている。 一人一人の違いに応じたプレイをしている。 健康・安全を確保して運動している。</p>	<p>○種目を選択する ソフトボール バレーボール フットサル</p> <p>○グループで事前に授業計画を行い、授業を実施する。</p> <p>1. 基礎・基本の技能の習得 2. 連動した動き 3. ゲームの運営</p>	<p>ベースボール型</p> <p>【知識及び技能】 (1) ソフトボールの技術の名称やそれぞれの動きのポイント、ベースボール型の特性や戦術を理解できる。 (2) 安定したバット操作、状況に応じた走塁、打球や走者の位置に応じた守備をゲームでおこなうことができる。 (3) 自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということを理解できる。 (4) ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができる。</p> <p>ネット型</p> <p>【知識及び技能】 (1) バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (2) 役割に応じたボール操作や状況に応じたボール操作をゲームでおこなうことができる。 (3) 連携して空いた場所を攻撃したり、カバーしたりする動きをゲームでおこなうことができる。 (4) 動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解できる。</p> <p>ゴール型</p> <p>【知識及び技能】 (1) サッカーの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 (2) 安定したボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出し埋める動きをゲームでおこなうことができる。 (3) 動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すことで技能や体力を高められることを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (1) 自分やチームの課題を見つけ、知識や技能を活用して練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (2) よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。 (3) チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 (4) 体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (1) 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。 (2) 仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとすることができる。 (3) 一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>					<p>合計 70</p>

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科：保健体育 科目：保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位対象学

年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：佐野正人）（2組：戸張豊賢）（3組：益子加津祐）（4組：佐野正人）（5組：木村宏幸）（6組：佐野正人）

使用教科書：現代高等保健体育（大修館）

教科の目標：生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標：個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学期	A単元：健康な生活と疾病の予防 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病、がんを予防するための方法で、自分ができることを実践できる。	・指導事項 4月 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた 5月 生活習慣病の予防と回復、がんの原因・予防・治療・回復 ・教材等 教科書「現代高等保健体育」	【知識及び技能】 わが国における健康水準の向上・健康問題の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病、がんを予防するための方法で、自分ができることを実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	B単元：生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病の発病や進行について理解し、生活習慣が重要であることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について主体的に学ぼうとする。	・指導事項 6月 運動・食事と健康、休養・睡眠と健康、喫煙と健康、 7月 飲酒と健康、薬物と健康 ・教材等 教科書「現代高等保健体育」	【知識及び技能】 健康の保持増進にとって食事・運動・休養は特に重要な要素であることを学び、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病の発病や進行について理解し、生活習慣が重要であることを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学期	C単元：現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組に応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症などの予防について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組む。	・指導事項 9月 感染症と予防 10月 性感染症とその予防 ・教材等 教科書「現代高等保健体育」	【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組に応用している。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症などの予防について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						

	<p>D単元：精神疾患の予防と回復</p> <p>【知識及び技能】 精神疾患は、心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 欲求やストレスへの対処について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 11月 欲求と適応規制 12月 心身の相関とストレス、心の健康のために</p> <p>・教材等 教科書「現代高等保健体育」</p>	<p>【知識及び技能】 精神疾患は、心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 欲求やストレスへの対処について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>E単元：健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>【知識及び技能】 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに貢献できる。</p>	<p>・指導事項 1月 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康、環境汚染を防ぐ取り組み 2月 ごみの処理と上下水道の整備、食品の安全を守る活動、働くことと健康</p> <p>・教材等 教科書「現代高等保健体育」</p>	<p>【知識及び技能】 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、説明しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	6
							1
	定期考査				○	○	

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目：音楽 I 単位数：2単位 対象学年組：第1年次1組～6組

教科担当者：（1・2組：伊藤）（3・4組：伊藤）（5・6組：伊藤）

使用教科書：（音楽 I Tutti+ 教育出版）

教科の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる能力を育成する。

【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する

【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技術を身につけ演奏する。	音色、リズム、旋律、強弱、構成等を知覚し、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、どのように表現するかについて意図をもって活動する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	単元 歌唱（校歌、ポップス曲 イタリア歌曲） 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関りを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲にふさわしい発声、表現などの技能を身に付ける。言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉え、どのように歌うかの表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広い視点から捉えようとする態度を養う。	・指導事項 発声練習、旋律・音程の理解、歌詞の内容の表現、歌唱法、表現法 イタリア語の解説、歌詞の意味、言葉と旋律の理解、歌詞を踏まえた歌唱法 ・教材 等 教科書、楽譜、ワークシート、練習記録表	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声を工夫し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査	歌唱 実技テスト					2
	単元 鑑賞 ホルスト「木星」 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴等について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、旋律、テクスチャ等を知覚し、それらの働きを感じ、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】オーケストラ等の演奏楽器による音色やリズム、旋律に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・指導事項 「木星」の様々なアレンジ曲を比較鑑賞し、表現形態の特徴を理解する。 ・教材 等 教科書、楽譜、ワークシート、練習記録表	【知識及び技能】音楽の表現形態の特徴について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラや様々な楽器の音色、響き、旋律がてんかきされながらもたらず表現上の効果に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	単元 楽典 リズムアンサンブル 【知識及び技能】正しいリズムによる身体を使った表現で、アンサンブルの基本的な技法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、技能の習熟度に応じた音楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 正しいリズムで奏法を身につけ、創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	・指導事項 歌唱、器楽を通して、音楽用語の知識と理解を深め、演奏につなげる読譜力の向上。ボディーパーカッションによるリズムアンサンブルを通し、リズム、拍子、テンポなど合奏に必要な演奏技法。 ・教材 等 教科書、楽譜、ワークシート、練習記録表	【知識及び技能】正しいリズムによる身体を使った表現で、アンサンブルの基本的な技法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、技能の習熟度に応じた音楽表現を創意工夫をして取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しいリズムで奏法を身につけ、創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元 器楽 ギター（音階練習、ギター練習曲 ポップス曲） 【知識及び技能】 楽器の構造及び基礎的な奏法、技能を身につける 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ギターの構造、TAB譜の読み方、奏法と身体の使い方などの技法、曲想と音色や奏法との関わり ・教材 等 ギター、教科書、楽譜、ワークシート、練習	【知識及び技能】 楽器の構造及び基礎的な技能を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、技能の習熟度に応じた音楽表現を創意工夫している。	○	○	○	5

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術科 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位対象学年組：第1年次 1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：桜井）（2組：桜井）（3組：加納）（4組：加納）（5組：桜井）（6組：桜井）

使用教科書：（美術1 光村図書）

教科の目標：美術に関する基礎的な知識、技能を学び、表現に必要な技術を身に付ける

【知識及び技能】 作品を制作するための基礎的な技術を身に付けていること

【思考力、判断力、表現力等】 自ら創造したいことが、他者に伝わる形で適切に表現する力を身に付けていること

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、自分や、他者の作品への関心・意欲・態度を示していること

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形体、構図、色彩についての理解を深め、基礎的な知識、技能を習得する	様々な事柄の中から、自分が問題解決のために創造したことを、適切に、効果的に表現し、作品制作に結び付ける力を養う	美術作品の良さや美しさに興味を持ち、自分や他者の作品への高い関心を示し、主体的に制作、鑑賞に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	A単元 デッサン 【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自らが表現したい内容が他者に伝わる形で表現できている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度	・指導事項 静物デッサン ・教材 等 鉛筆、画用紙、練ゴム、カッター	【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解し、基本的な形を立体的に描いている 【思考力、判断力、表現力等】 光源や影のつき方、反射光など、物体を思考しながら観察し、判断し、表現に繋げる 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査						
	B単元 色彩構成（基礎） 【知識及び技能】 色彩についての基礎的な知識を学び、絵具の使い方を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 自らが思考し、表現したいことを学んだ知識を活用して表現できている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度	・指導事項 平面構成① 平面構成② ・教材 等 ケント紙、絵具セット、マスキングテープ	【知識及び技能】 べた塗や、混色の技能、基礎的な道具の使い方を身に付けて制作している 【思考力、判断力、表現力等】 色の組み合わせや、色相、明度、彩度を理解し、表現に結び付けている 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度、振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる	○	○	○	10
定期考査							
2 学 期	C単元 四字熟語のタイポグラフィ 【知識及び技能】 レタリングの技能と構成、色彩について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自らが思考し、表現したいことを学んだ知識を活用して表現出来ている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度	・指導事項 レタリング、平面構成③ ・教材 等 ケント紙、絵具セット、レタリング帳	【知識及び技能】 レタリングの技能、構成力を身に付けて制作している 【思考力、判断力、表現力等】 四字熟語の意味を色彩や構成に落とし込み、他者に伝達することを意識したデザインとして制作している 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度、振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる	○	○	○	8
	定期考査						
	D単元 牛乳パックのパッケージデザイン 【知識及び技能】 アートディレクターの仕事、デザインの仕組みを理解し、作品制作に繋げていく 【思考力、判断力、表現力等】 クライアントに求められるデザインとは何かを思考し、他者に伝わる表現が出来ている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度	・指導事項 パッケージデザイン制作 ・教材 等 ケント紙、絵具セット、ワークシート、DVD	【知識及び技能】 コンセプトに合わせた色彩、構成を工夫し、制作している 【思考力、判断力、表現力等】 コンセプトに合わせた表現について考え、消費者が魅力を感じるデザインについて理解している 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度、振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる	○	○	○	14
定期考査							
	E単元 画家レポート 【知識及び技能】 自分が選んだ画家の技法について理解し、制作に繋げている 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 絵画制作 ・教材 等 画用紙、水張りテープ、張りパネル、絵具セット、ワークシート	【知識及び技能】 模写の技術として、画家の色彩、構図、タッチなどを再現できている 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞を表現に結び付け、画家の個性や特徴を	○	○	○	16

	<p>画家に対する知識、時代背景を学び、自らの表現に繋げていく</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度</p> <p>定期考査</p>		<p>理解し、制作している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 授業態度、振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる</p>				
3 学期	<p>D単元 色彩構成（応用）</p> <p>【知識及び技能】 色彩についての知識を応用的に発展させ、構図、レタリングの技能を生かした制作ができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の個性や発想力を、他者に伝わる表現として工夫し、制作できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度</p>	<p>・指導事項 平面構成（応用）</p> <p>・教材 等 ケント紙、絵具セット、マスキングテープ</p>	<p>【知識及び技能】 習得した、べた塗や混色の技法を生かした制作をし、課題の意図に沿ったポストカードや文字の構成ができている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題の意図に沿って、自らが表現したいことを、色彩、構成を工夫し、自分の個性を生かした作品制作ができている</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 授業態度、振り返りのワークシートに積極的に取り組んでいる</p>	○	○	○	16
	定期考査						合計 70

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 工芸 I

教科： 芸術 科目： 工芸I 単位数： 2

単位対象学年組：第 1学年 1組～ 6組

教科担当者：（ 1 ～ 6 組：羽浦めぐみ ）

使用教科書：（ 工芸 I （日本文教出版株式会社） ）

教科 芸術（工芸）の目標：芸術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方。考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造的に表す技能を育成する。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深める。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準			配当時間	
			知	思	態		
1 学 期	A単元 オリエンテーション 図法 (2)社会と工芸 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 正投影図と等角図を相互に書き表す。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組む。 毎時間の振り返りで自己を調整する。	・指導事項 ・製図の基礎 ・教材 等 ・プリント	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 正投影図と等角図を相互に書き表せている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組もうとしている。 毎時間の振り返りで自己を調整しようとしている。	○	○		4
	B単元 木目込みのトレイ (1)身近な生活と工芸 鑑賞 【知識及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 木目込みのトレイの用途と美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練る。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取る。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組む。 毎時間の振り返りで自己を調整する。	・指導事項 ・木目込みの歴史と文化 ・木目込みの技法 ・調和のとれたデザインを考える ・教材 等 ・スタイロフォーム、ちりめん布など	【知識及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 木目込みのトレイの用途と美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取っている。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組もうとしている。 毎時間の振り返りで自己を調整しようとしている。	○	○		14

2、3学期	<p>C単元 木のスプーン (1)身近な生活と工芸鑑賞</p> <p>【知識 及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。 アイデアスケッチから製図を描く。 【思考力、判断力、表現力等】 木材の木目やつやなどの特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表す。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取る。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組む。 毎時間の振り返りで自己を調整する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・素材の特徴と加工 ・アイデアスケッチ、製図 ・工具の使い方 ・仕上げについて ・教材 等 	<p>【知識 及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。 アイデアスケッチから製図を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 木材の木目やつやなどの特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表している。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取っている。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組もうとしている。 毎時間の振り返りで自己を調整しようとしている。</p>	○	○	14
	<p>D単元 染色とプリントによる手ぬぐいデザイン (2)社会と工芸 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 手順や技法などを吟味し、創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、生活環境などから心豊かな発想をする。 工芸作品や文化遺産などから日本の工芸の特質や美意識を感じ取り、工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組む。 毎時間の振り返りで自己を調整する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・染色の技法と手ぬぐいの文化 ・引き染めと消しゴムハンコを融合した、使う人の視点に立ったデザイン ・消しゴムはんこによるブロックプリント ・ユニットによるブロックパターン ・教材 等 <p>手ぬぐい、消しゴムはんこなど</p>	<p>【知識及び技能】 手順や技法などを吟味し、創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、生活環境などから心豊かな発想をしている。 工芸作品や文化遺産などから日本の工芸の特質や美意識を感じ取り、工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組もうとしている。 毎時間の振り返りで自己を調整しようとしている。</p>	○	○	18
33学期	<p>E単元 籐のかごを編む (1)身近な生活と工芸 鑑賞</p> <p>【知識 及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。 アイデアスケッチから型紙を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 籐の特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表す。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取る。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組む。 毎時間の振り返りで自己を調整する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 <p>自宅などにあるかごを調べ、用途や美しさについて話し合う。 小物を入れる小さなかごを作る。 ・教材 等</p> <p>籐 目打ち おけ など</p>	<p>【知識 及び技能】 意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。 アイデアスケッチから型紙を作れる。 【思考力、判断力、表現力等】 籐の特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表している。 身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取っている。 制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に作品制作と鑑賞に取り組もうとしている。 毎時間の振り返りで自己を調整しようとしている。</p>	○	○	10
						合計 70

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位対象学
 年組：第 1 学年 3 組～4 組
 教科担当者：（3 組：廣谷 ）（ 4 組：廣谷 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
 使用教科書：（書 I 光村図書 ）

教科の目標：書道の幅広い活動を通して、書の文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】書の文化を理解する。作品を効果的・創造的に表現する技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現する能力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】書の文化に豊かに関わり、表現及び鑑賞に主体的に取り組む。

科目書 道 I の目標：書の文化と豊かに関わることに必要な基本的な資質能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の文化についての基本的な知識を深める。所の基本的な表現技法を身につける。	意図に基づいて構想し、よりよい作品になるように表現を工夫する能力を育成する。	完成を高め、主体的に書の文化に親しむようにする。積極的に書の制作をする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学期	A単元 基本的な表現技法 【知識及び技能】書の各分野の基本的な表現技法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの創作に応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現技法を学ぶ態度を育成する。	・指導事項 漢字、仮名、漢字仮名交じり文の基本的な表現技法を指導する。 ・教材 等 書道道具・用材一式	【知識及び技能】基本的な表現技法を用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】学んだ表現技法を捜索に応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	8
	定期考査						
	B単元 古典の学習 【知識及び技能】様々な古典の表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】学んだ古典の表現技法を捜索に応用する。 【学びに向かう力、人間性等】古典の特徴を主体的に理解しようとする態度を養う。	・指導事項 古典を臨書し、各古典の表現の特徴を学ぶ。 ・教材 等 書道道具・用材一式 作品用うちわ	【知識及び技能】各古典の表現技法で文字が書ける。 【思考力、判断力、表現力等】各古典の表現技法を創作におよぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	14
定期考査							
2 学期	C単元 古典の臨書と創作の応用 【知識及び技能】様々な古典の表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】創作の手順を理解し、古典の表現方法を応用する。 【学びに向かう力、人間性等】学んだことを主体的に応用する。	・指導事項 古典を臨書し、その表現方法を創作に応用する方法を指導する。 ・教材 等 書道道具・用材一式、	【知識及び技能】各古典の表現技法で文字が書ける。 【思考力、判断力、表現力等】創作の過程を理解し、古典の表現技法を応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	16
	定期考査						
	D単元 刻字 【知識及び技能】様々な彫り方と制作手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自分の意図に沿った表現ができるように工夫を続ける 【学びに向かう力、人間性等】よりよい作品になるように主体的に制作する。	・指導事項 セラミックボードに文字を彫り、書の立体的な表現を体験する。 ・教材 等 セラミックボード、彫刻刀、アクリル絵の具	【知識及び技能】様々な彫り方と制作手順を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】より良い作品になるように彫り方や彩色を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に制作活動をしている。授業態度。	○	○	○	12
定期考査							

3 学 期	E単元 紙面構成、漢字仮名交じり文の創作 【知識及び技能】紙面構成による作品の印象 の変化を理解する。	・指導事項 漢字仮名交じり文の創作を通して今までの 学習をまとめる。 ・教材 等 書道道具・用材一式、半切サイズの用紙、	【知識及び技能】紙面構成の違いによる作品 の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】紙面構成を工 夫した創作活動をしている。 【学びに向かう力、人間性等】今までの学習 を応用して積極的に制作活動をしている。授 業態度。	○	○	○	1
	【思考力、判断力、表現力等】紙面構成を工 夫した創作作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】今までの学習 成果を応用する態度を養う。						合計
	定期考査						70

東京都立つばさ総合高等学校令和5年度（1学年用） 教科 外国語科科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 英語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位対象学年組： 第1年次 1組 ～ 6組

教科担当者： （1組・2組：水上・山本・工藤） （3組・4組：工藤・山本・水上） （5組・6組：工藤・山本・平林）

使用教科書： （ Big Dipper English Communication I 数研出版）

教科の目標： グローバル社会に主体的に参画するための資質・能力の育成に向け、基礎的な学力定着、積極的に4技能5領域を学ぶ意欲と自学自習の慣確立を目指す。

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めていること

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、日常的な話題などについて適切に表現したり伝え合ったりすること

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすること

科目 英語コミュニケーションⅠの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め知識と技能を習得する	コミュニケーションを行う目的や場面、日常的な話題などについて適切に評価したり伝え合ったりする力を養う	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学期	・単元名 Lesson 1 「健康・学校生活」 過去形・現在形・未来形／現在完了／現在進行形／命令文 Lesson 2 「社会・日本文化」 文型① 〈SVC, SV0〉／不定詞／動名詞 【知識及び技能】 言語材料（現在形、過去形、未来を表す表現、現在完了、現在進行形、命令文、文型〈SVC〉〈SV0〉、不定詞、動名詞）を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 朝食の重要性やゆるキャラ®の役割や活動について理解を深め、概要や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	・指導事項 4月 Lesson 1 “Have a Good Day with a Good Breakfast” 5月 Lesson 2 “A Mascot with a Mission” 教科書 Big Dipper English Communication I ・副教材 Big Dipper English Communication I ベーシックノート Big Dipper English Communication I ワークブック Target 1400 (5訂版)	【知識及び技能】 ・側注・脚注の語彙や、Hints for Understandingの言語材料（現在形、過去形、未来を表す表現、現在完了、現在進行形、命令文、文型〈SVC〉〈SV0〉、不定詞、動名詞）を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・朝食の重要性について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・ゆるキャラ®の役割や活動について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各Part 本文の内容（朝食に関する話題、くまモンに関する話題）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	・単元名 Lesson 3 受動態／関係代名詞 who・which・that／ 文型② 〈SV00, SV0C〉（心理・社会） Lesson 4 最上級／比較級／原級（スポーツ・歴史） 【知識及び技能】 言語材料（受動態、関係代名詞（who/which/that、最上級、比較級、原級）、文型〈SV0102〉〈SV0C〉）を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる2つのリーダーシップのタイプ（サル型／ゴリラ型）や指導者の適性やマラソン、バスケットボール、スポーツライミング、eスポーツについて理解を深め、概要や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	・指導事項 6月 Lesson 3 “Two Kinds of Leadership” 7月 Lesson 4 “Older Sports and Newer Sports” 教科書 Big Dipper English Communication I ・副教材 Big Dipper English Communication I ベーシックノート Big Dipper English Communication I ワークブック Target 1400 (5訂版)	【知識及び技能】 ・側注・脚注の語彙や、Hints for Understandingの言語材料（受動態、関係代名詞（who/which/that、最上級、比較級、原級）、文型〈SV0102〉〈SV0C〉）を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・異なる2つのリーダーシップのタイプ（サル型／ゴリラ型）や指導者の適性について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・マラソン、バスケットボール、スポーツライミング、eスポーツについて、それらの歴史や魅力について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各Part 本文の内容（リーダーシップの種類や、指導者の適性、スポーツに関する話題）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話した	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	・単元名 Lesson 5名詞を修飾する分詞／形式主語It is ～ that ……／形式主語It is ～(for A) to do ……（科学技術・芸術） Lesson 6過去完了、関係副詞 where、関係副詞 when）（異文化理解・心理）	・指導事項 9月 Lesson 5 “AI Meets the Arts” 10月 Lesson 6 “What is Happiness?” 教科書 Big Dipper English Communication I ・副教材	【知識及び技能】 ・側注・脚注の語彙や、Hints for Understandingの言語材料（名詞を修飾する分詞、形式主語〈It is ～ that ……〉、形式主語〈It is ～ (for A) to do ……〉過去完了、関係副詞 where、関係副詞 when）を	○	○	○	20

	<p>【知識及び技能】 言語材料（名詞を修飾する分詞，形式主語〈It is ~ that〉，形式主語〈It is ~ (for A) to do〉過去完了，関係副詞 where，関係副詞 when）を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 AIやAIによる芸術や，日本と世界の幸福度の違いなどについて理解を深め、概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしている。</p>	<p>Big Dipper English Communication I ベーシックノート Big Dipper English Communication I ワークブック Target 1400 (5訂版)</p>	<p>理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・AIやAIによる芸術について，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>・日本と世界の幸福度の違いなどについて，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・各Part 本文の内容（AIやAI芸術、幸福度に関する話題）について，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしようとしている</p>				
	定期考査			○	○		1
	<p>単元名 Lesson 7 (SVOC (V=知覚動詞, C=原形不定詞), SVOC (V=使役動詞, C=原形不定詞), SVO +to-不定詞, SVOC (V=知覚動詞, C=現在分詞) (環境・経済) Lesson 8関係副詞 how, 関係副詞 why, 関係代名詞 what, 強調構文〈It is[was] ~ that〉 (人物・文化)</p> <p>【知識及び技能】 言語材料 (SVOC (V=知覚動詞, C=原形不定詞), SVOC (V=使役動詞, C=原形不定詞), SVO +to-不定詞, SVOC (V=知覚動詞, C=現在分詞)、関係副詞 how, 関係副詞 why, 関係代名詞 what, 強調構文〈It is[was] ~ that〉) を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人気の観光地の抱える問題や世界で活躍する特殊メイクアップアーティストのKazu Hiroがどのようにして夢をかなえたかについて，理解を深め、概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話し</p>	<p>・指導事項 11・12月 Lesson7 “The Maldives: A Dream Destination?” Lesson 8 “Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream”</p> <p>・教科書 Big Dipper English Communication I</p> <p>・副教材 Big Dipper English Communication I ベーシックノート Big Dipper English Communication I ワークブック Target 1400 (5訂版)</p>	<p>【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や， Hints for Understandingの言語材料 (SVOC (V=知覚動詞, C=原形不定詞), SVOC (V=使役動詞, C=原形不定詞), SVO +to-不定詞, SVOC (V=知覚動詞, C=現在分詞)、関係副詞 how, 関係副詞 why, 関係代名詞 what, 強調構文〈It is[was] ~ that〉) を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・人気の観光地の抱える問題について，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>・世界で活躍する特殊メイクアップアーティストのKazu Hiroがどのようにして夢をかなえたかについて，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各Part 本文の内容 (人気の観光地，観光公害，ミサキがアリに送ったメッセージなど、Kazu Hiroの手紙や，将来の夢など) について，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>単元名 Lesson 9 つなぎ表現，分詞構文「～するとき」，間接疑問文，現在完了進行形 (環境・生活) Lesson 10仮定法過去，分詞構文「～して，そして…」，過去の習慣would, 助動詞+be +過去分詞) (平等・労働)</p> <p>【知識及び技能】 言語材料 (つなぎ表現，分詞構文「～するとき」，間接疑問文，現在完了進行形、仮定法過去，分詞構文「～して，そして…」，過去の習慣would, 助動詞+be+過去分詞) を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ゴミの再利用の新しい形であるアップサイクルについてや雇用の多様性について，理解を深め、概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしている。</p>	<p>・指導事項 1・2月・3月 Lesson 9 “From Recycle to Upcycle” Lesson 10 “Diversity a Japanese Companies”</p> <p>・教科書 Big Dipper English Communication I</p> <p>・副教材 Big Dipper English Communication I ベーシックノート Big Dipper English Communication I ワークブック Target 1400 (5訂版)</p>	<p>【知識及び技能】 ・側注・脚注の語彙や， Hints for Understandingの言語材料 (つなぎ表現，分詞構文「～するとき」，間接疑問文，現在完了進行形、仮定法過去，分詞構文「～して，そして…」，過去の習慣would, 助動詞+be +過去分詞) を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ゴミの再利用の新しい形であるアップサイクルについて，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>・雇用の多様性について，理解を深めるために，各Part本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・各Part 本文の内容 (モットイナイ精神やアップサイクル商品など、日本企業の雇用や，働きかたなど) について，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
合計							105

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語科 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位対象学年組： 第1年次 1組 ～ 6組
 教科担当者：（1組：平林・水上）（2組：水上・横山）（3組：市瀬・横山）（4組：水上・工藤）（5組：市瀬・横山）（6組：平林・市瀬）
 使用教科書：（ English Logic and Expression I いいずな書店 ）

教科の目標： 外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う

【主体的に学びに向かう力】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学びに向かう力】
論理の構成や展開及び表現などに関する事項、および情報や考えなどを効果的に伝える表現を理解し、使いこなす技能を養う	日常的な話題や社会的な話題について、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを適切な英語で表現する力を養う	言語活動に主体的に取り組み、自分がどのように上達しているかなどについて、自ら学習のまとめや振り返りを行い、また、自主的に外国語を身に付けようとする力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準			配当時間	
			知	思	態		
1学期	【知識及び技能】 現在、過去、未来、完了したことについての表現法について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組んでいる	・指導事項 Lesson 1 Meeting People Lesson 2 Holidays and Weekends Lesson 3 Making Plans Lesson 4 Travel における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表など	【知識及び技能】 各単元の表現法を正しく理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各単元において、場面や状況に応じて考えを形成し、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組むことができる	○	○	○	13
	定期査			○	○		1
	【知識及び技能】 過去完了、can、may、must、wouldなどの表現法について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組んでいる	・指導事項 Lesson 5 Study and Activities Lesson 6 Food Culture Lesson 7 School Life Lesson 8 Daily Life における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表など	【知識及び技能】 各単元の表現法を正しく理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各単元において、場面や状況に応じて考えを形成し、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組むことができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	【知識及び技能】 受動態、不定詞、使役動詞、知覚動詞などの表現法について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組んでいる	・指導事項 Lesson 9 Transportation Issues Lesson 10 Future Activities Lesson 11 Staying Healthy Lesson 12 New Products における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表など	【知識及び技能】 各単元の表現法を正しく理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各単元において、場面や状況に応じて考えを形成し、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組むことができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 動名詞、分詞の諸用法、関係代名詞などの表現法について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組んでいる	・指導事項 Lesson 13 Hobbies and Interests Lesson 14 The World of Nature Lesson 15 Trouble and Accidents Lesson 16 Inventions における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表など	【知識及び技能】 各単元の表現法を正しく理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各単元において、場面や状況に応じて考えを形成し、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組むことができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	【知識及び技能】 関係副詞、比較、仮定などの表現法について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組んでいる	・指導事項 Lesson 17 Cities and Towns Lesson 18 Living Environment Lesson 19 Social Problems Lesson 20 Making a Wish における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表など	【知識及び技能】 各単元の表現法を正しく理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各単元において、場面や状況に応じて考えを形成し、適切な英語で表現できる 【主体的に学びに向かう力】 言語活動に主体的に取り組むことができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
合計						70	

東京都立つばさ総合高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2

単位対象学年組： 第 1学年 1組～ 6組

教科担当者：（1 組：福澄・柿沼）（2 組：大塚・柿沼）（3 組：大塚・柿沼）（4 組：大塚・檜垣）（5 組：福澄・柿沼）
（6 組：稲田・檜垣）

使用教科書：（ 家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来 教育図書 ）

教科の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通じて、社会の構築に向けて、創造する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、衣食住、消費や環境などについて理解し、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題解決をする力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に向けて、課題の解決に主体的に振り返り改善することができる。

家庭基礎の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立した生活を送るために必要な知識及び、衣食住生活に関する技術を身に付ける。	環境問題や社会問題を解決し、よりよい生活を送るために自ら考え、人にそれを伝える力を身に付ける。	目的意識をもって学習に取り組み、仲間と意見交換し、よりよい社会と自立した生活を目指す意識を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	生活設計、人の一生と生涯発達 【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期をどのように生きるか考え、生活設計をする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組む。	指導事項： 自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づかせる。 教材： 教科書、資料集、プリント	【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期をどのように生きるか考え、生活設計をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組むことができる。	○	○	○	3
	青年期と家族 【知識及び技能】 家族生活を支え法律を理解する。現代の家族問題と解決のための社会的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組む。	指導事項： 家族・家庭とは何かを、さまざまな観点から考えてさせ、他者と意見交換し自分なりの価値観を築けるよう指導する。青年期をどのように生きるか考え、生活設計させ、18歳で大人になるという自覚を持たせる。 教材： 教科書、資料集、プリント	【知識及び技能】 家族生活を支え法律を理解することができる。現代の家族問題と解決のための社会的な仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組むことができる。	○	○	○	3
	保育 【知識及び技能】 子どもの心身の発達の特徴、遊びの意義を理解する。子どもの権利と福祉について理解する。現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組む。	指導事項： 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見を持たせる。親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生き育てることの意義を考えさせる。 育児休業について、他国と比較して考えを深めさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、妊婦体験、新生児人形	【知識及び技能】 子どもの心身の発達の特徴、遊びの意義を理解する。子どもの権利と福祉について理解することができる。現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組むことができる。	○	○	○	10

	<p>高齢期</p> <p>【知識及び技能】 高齢期の特徴を捉え、将来像としての高齢者について考える。 高齢者を取り巻く社会課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考える。</p>	<p>指導事項： 家族や地域の実態知り、高齢期の特徴を理解させる。高齢者を取り巻く社会課題を調べさせ、改善策を考えさせる。</p> <p>教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材</p>	<p>【知識及び技能】 高齢期の特徴を捉え、将来像としての高齢者について考えることができる。 高齢者を取り巻く社会課題を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えることができる。</p>	○	○	○	6
	<p>共生社会</p> <p>【知識及び技能】 自助、互助、共助、公助について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめ、発表できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 共生社会実現のために、自分に何ができるかを考える。</p>	<p>指導事項： 社会保障制度のしくみや他の国の現状を知り、自分なりに考えを深めさせる。 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考えさせる。</p> <p>教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材</p>	<p>【知識及び技能】 自助、互助、共助、公助について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめ、発表できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えることができる。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	
2 学 期	<p>衣生活</p> <p>【知識及び技能】 生活と衣服の関わり、衣服機能について理解する。エプロン製作を通じ、布の縫い方やミシンの使い方など、基本的な技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめ、発表する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をする。</p>	<p>指導事項： 自身の衣生活の分析をさせ、衣服や日常の衣生活に関心を持たせる。衣服の表示を理解させ日常生活で活用させる。 実験や実習を通して、基本的な衣服製作の技術を身に付けさせる。</p> <p>教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、製作教材</p>	<p>【知識及び技能】 生活と衣服の関わり、衣服機能について理解する。エプロン製作を通じ、布の縫い方やミシンの使い方など、基本的な技術を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめ、発表することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をすることができる。</p>	○	○	○	14
	<p>食生活</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や食材・調理器具の扱い方や調味料の計量の仕方調理室の使い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめ、発表する。自分の住む地域や他の地域の食文化について調べまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとする。 調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図る。</p>	<p>指導事項： 日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解させる。調理実習により調理技術を身に付けさせ、年齢、性別、宗教などのさまざまな背景や考え、相手に配慮した献立を考えさせる。日本の食文化を理解させ、食生活の伝統をひきつぐ主体であることを認識させる。</p> <p>教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、調理器具等</p>	<p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や食材・調理器具の扱い方や調味料の計量の仕方調理室の使い方について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめ、発表する。自分の住む地域や他の地域の食文化について調べまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとすることができる。 調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図ることができる</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	

3 学 期	住生活 【知識及び技能】 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解する。住まいの機能を理解し、適切な住まいについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 防災への備えについてまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移す	指導事項： 自然などの災害に備えや家庭事故の要因を理解させ、安全な住居についての基礎知識を身に付けさせる。私たちの暮らしが地域と繋がっていることを知らせ、まちづくりに参加する重要性を理解させる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解する。住まいの機能を理解し、適切な住まいについて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 防災への備えについてまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。	○	○	○	6
	経済計画と消費生活 【知識及び技能】 生活費と家計の関係や消費者信用について理解する。 消費者問題と、消費者の権利や支援制度について理解し、適切な消費行動について考えて実践する。消費行動における意思決定の過程とその要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表する。 消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表し、意見交換する。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計簿をつけるなど工夫する。 消費者問題について自分ごととして捉えて対策しようとしている。また、他の人への啓発の意識をもつ。	指導事項： 生涯を見通した経済計画の重要性について理解させ、18歳で「大人」になるという自覚をもたせ、大人と未成年の違いについて理解させる。さまざまな決算方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分にあった利用方法について考えさせる。 自分の消費行動が社会の与える影響について理解させ、持続可能な社会のためにどう行動したらよいか考えさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 生活費と家計の関係や消費者信用について理解することができる。 消費者問題と、消費者の権利や支援制度について理解し、適切な消費行動について考えて実践する。消費行動における意思決定の過程とその要因について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表し、意見交換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計簿をつけるなど工夫することができる。 消費者問題について自分ごととして捉えて対策しようとしている。また、他の人への啓発の意識をもつことができる。	○	○	○	6
	環境 【知識及び技能】 SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生活と環境のつながりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生活を見つめ直し、地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考える。	指導事項： 環境問題について基本的な内容を理解させ、持続可能な社会を実現するための社会の取り組みを理解させる。本校のISO活動を通じて授業を展開する。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	知識及び技能】 SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生活と環境のつながりについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生活を見つめ直し、地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考えることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	合計 70

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報I

教科： 情報科 科目： 情報I 単位数： 2単位 単位対象学年組： 第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：中島・波多野）（2組：中島・波多野）（3組：中島・波多野）
（4組：中島・岡崎）（5組：中島・岡崎）（6組：波多野・岡崎）

使用教科書：（情報I 図解と実習 日本文教出版）

教科の目標： 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】 情報と情報技術を適切に活用するために必要な技術を身に付けていること

【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会とその関りについて考えながら、問題の発見・解決に主体的に取り組む力を身に付けていること

科目 情報I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得する	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	A単元 情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報社会とは何かについて理解する 知的財産権に対して理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を観点に分けて説明する 著作物の活用の仕方を判断する 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の様々な課題の解決策を考える 著作物を主体的に利用する	・指導事項 4月「情報社会とは何か」、「情報社会を支える法律」 5月「著作権に関する法律」、コンピュータ基礎技能（タッチメソッド等の習得） ・教材 等 ソフトウェア：ワープロソフト	【知識及び技能】 情報社会とは何かについて理解している 知的財産権に対して理解している 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を観点に分けて説明できる 著作物の活用の仕方を判断が判断できる 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の様々な課題の解決策を主体的に考えようとしている 著作物を主体的に利用しようとしている	○	○	○	14
	定期考査						
	B単元 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの考え方と目的を理解する 情報デザインの主な手法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化する 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある情報デザインの例や手法を探す 定期考査	・指導事項 6月「情報デザイン」 「わかりやすい情報デザインの工夫」 7月「デジタルデータと2進数」 ・教材 等 ソフトウェア：WEBブラウザ、表計算ソフト	【知識及び技能】 情報デザインの考え方と目的を理解できる 情報デザインの主な手法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化することができる 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある情報デザインの例や手法を探そうとしている	○	○	○	14
2 学 期	C単元 アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 順次・分岐・反復のアルゴリズムを理解 プログラムの基本構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを図式化する プログラムの命令を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズム、プログラムを工夫して主体的に考える 定期考査	・指導事項 9月「アルゴリズム」 10月「プログラム」 ・教材 等 ソフトウェア：WEBブラウザ、表計算ソフト	【知識及び技能】 順次・分岐・反復のアルゴリズムを理解できる プログラムの基本構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを図式化できる プログラムの命令を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズム、プログラムを工夫して主体的に考えようとしている	○	○	○	14
	定期考査						
	D単元 モデル化・シミュレーション 【知識及び技能】 モデル化の進め方の理解 シミュレーション技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 解決に向けたシミュレーションを行う 【学びに向かう力、人間性等】 モデルの構築を工夫し、試行錯誤してシミュレーションする 定期考査	・指導事項 11月・12月「モデル化」「シミュレーション」 ・教材 等 ソフトウェア：WEBブラウザ、表計算ソフト	【知識及び技能】 モデル化の進め方の理解できる シミュレーション技術を身に付けようとしている 【思考力、判断力、表現力等】 解決に向けたシミュレーションを行える 【学びに向かう力、人間性等】 モデルの構築を工夫が見られ、試行錯誤してシミュレーションしようとしている	○	○	○	14
E単元 ネットワーク、データベース データの活用 【知識及び技能】 ネットワークの基本的な構成を理解する データベース管理システムを理解する	・指導事項 1月「ネットワーク」「データベース」 2月・3月「データの活用」 ・教材 等 ソフトウェア：WEBブラウザ、プレゼンター	【知識及び技能】 ネットワークの基本的な構成を理解できる データベース管理システムを理解できる	○	○	○	14	

<p>【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークの基本的な構成を説明する データベース管理システムを説明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ネットワークへの理解を主体的に深める データベースへの理解を主体的に深める</p>	<p>シオンソフト</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークの基本的な構成を説明できる データベース管理システムを説明できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ネットワークへの理解を主体的に深めている データベースへの理解を主体的に深めている</p>				<p>合計</p>
<p>定期考査</p>						<p>70</p>

東京都立つばさ総合高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 産業社会と人間 科目 産業社会と人間

教科：産業社会と人間 科目：産業社会と人間 単位数：2 単位対象学組：
 第 1学年 1組～ 6組
 教科担当者：（ 1組：中井 ）（ 2組： 渡邊 茂 ）（ 3組：渋谷 ）（ 4組：羽浦 ）（ 5組：伊藤 ）（ 6組：工藤 ）
 使用教科書：（ なし ）

教科 産業社会と人間の目標：

- 【知識及び技能】 上級学校や職業や勤労についての学び、インタビューなどを通して情報を収集しまとめる技能を身につける。
「つばさスキル」について知り、望ましい高校生活が送れるようにする。
本校の履修について知り、自分自身の目標について情報を集める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 職業や勤労について考える。
将来の職業を含めて自分自身の目標に向かうための判断力を育てる。
インタビューなどを通して情報を収集しまとめ、発表する表現力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 「自己」、「自己と他者とのかかわり」、「自己と社会とのかかわり」、「社会のしくみ」について考え、自分自身の在り方生き方を探求する。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
職種や業種、上級学校について調査し活用できるようにする。 インタビューの方法や情報の収集、まとめ方を身につけるようにする。 つばさスキルについて知り、望ましい高校生活を送れるようにする。	職業や勤労について考え、将来の職業を含めて自分自身の目標に向かうための判断ができるようにする。 インタビューなどを通して情報を収集しまとめ、発表する表現力を身につけるようにする。	「自己」「自己と他者とのかかわり」「自己と社会とのかかわり」「社会のしくみ」について考え、自分自身の在り方生き方を探求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	A単元 「進路適性検査（R-CAP）」「職業・上級学校調べ」 【知識及び技能】 ・アセスメントを基に、自分の適性を知る。 ・進路に応じた上級学校や職業を調べ、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己を知り、自己の適性から進路や職業を考え、発表したり話し合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の在り方生き方を探求しようとする。	・指導事項 ・アセスメント（R-CAP）を行い、その結果をもとに自己を知り、自己の適性から進路や職業を考える。 ・「仕事/学問カタログ」を活用し、進路に応じた上級学校や職業を調べ、まとめる。 ・教材 等 ・R-CAP ・一人一台端末を活用する。	「【知識及び技能】 ・アセスメントを基に、自分の適性を理解している。 ・進路に応じた上級学校や職業を調べ、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己を知り、自己の適性から進路や職業を考え、発表したり話し合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の在り方生き方を探求しようとしている。	○	○	○	8
	B単元 「つばさゼミ」 【知識及び技能】 ・本校の「つばさスキル」について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「つばさスキル」を達成するためにはどうしたらいいか、話し合ったり発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の在り方生き方を探求しようとする。	・指導事項 ・「つばさスキル」についてグループワークをする。 ・「望ましい高校生活が送れるようにするため」の考えを深め、発表する。 ・教材等 ・一人一台端末	【知識及び技能】 ・本校の「つばさスキル」について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「つばさスキル」を達成するためにはどうしたらいいか、話し合ったり発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の在り方生き方を探求しようとしている。	○	○	○	5
	C単元 「履修ガイダンス」「履修相談」 【知識及び技能】 ・自分の適性から、本校での履修計画を立てる。 ・各教科、科目について学び、履修を仮登録する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教員や保護者と話し合い、自分の将来について考え、判断する。 ・自分がインタビューしたい事業所を調べ、選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの多様な社会を柔軟に生きていくための在り方生き方を探求しようとする。	・指導事項 ・履修についてのガイダンスで本校のカリキュラムについて把握する。 ・自分の進路希望を概ね決め、今後の履修教科、科目について、担当教員等に相談をする。 ・保護者と相談・確認し、履修仮登録をする。 ・端末等を活用して、自分がインタビューしたい事業所について調べる。第3希望まで候補を出す。 ・教材 等 ・一人一台端末を活用する。	【知識及び技能】 ・自分の適性から、本校での履修計画を立てている。 ・職業人インタビューの流れを理解している。 ・各教科、科目について学び、履修を仮登録している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教員や保護者と話し合い、自分の将来について考え、判断している。 ・自分がインタビューしたい事業所を調べ、選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの多様な社会を柔軟に生きていくための在り方生き方を探求しようとしている。	○	○	○	6
	D単元 「職業人インタビュー」 【知識及び技能】 ・職業人インタビューの流れを理解する。	・指導事項 ・端末等を活用して、自分がインタビューしたい事業所について調べる。第3希望まで候補を出す。	【知識及び技能】 ・職業人インタビューの流れを理解している。	○	○	○	8

